

大阪湾漁場環境速報

平成20年 6月 11日発行
兵庫のり研究所

(水温) 表層は湾内19~23 台で、平均21.1。 平年(過去10年平均19.9)比1.2、 昨年(19.2)比1.9 それぞれ高い。 -10m層は平均18.8 で、平年(18.5)比0.3 高い。 表層塩分の低い調査点で、表層と-10m層の水温差が大きくなっている。
(塩分) 表層平均28.06psu(平年 31.31)。 -10m層平均32.08psu(平年32.42)。
(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均2.0 µg-at/L、リン濃度は平均0.15 µg-at/L。 窒素は平年(3.8)の半分程度で、リンはほぼ平年(0.19)並。 -10m層(平均)は、窒素3.9 µg-at/L、リン0.19 µg-at/L。 明石海峡(垂水沖)~神戸市沖~関西空港周辺(湾奥部018を除く)では、小型珪藻のスケルトネマが大量発生しており、広範囲に赤潮を形成している。 赤潮域では、リン濃度が0.1 µg-at/L前後の低い値を示し、渦鞭毛藻もやや多く認められた。 湾全域の-10m層では、大型珪藻コシノディスカスが散見された(海水1Lあたり5~40細胞)。 また、4、5月に確認された夜光虫(ノクチルカ)の赤潮は確認されなかった。 透明度は1.5~8.0mで、平均3.8m。 pHは表層平均8.57で、赤潮域の表層では8.5~8.9の高い値を示している。

上段(今回値)	平成20年6月10日調査
中段(昨年値)	平成19年6月8日調査
下段(平年値)	

調査地点	水温(°C)	塩分(psu)	三態窒素(µg-at/L)	磷酸(µg-at/L)
04	20.0	32.79	3.9	0.27
	19.6	32.19	2.7	0.17
05	19.5	31.88	3.7	0.32
	18.4	32.55	2.7	0.37
06	19.1	32.10	3.7	0.27
	20.6	24.24	1.5	0.10
07	18.4	32.57	2.7	0.35
	18.6	32.22	4.4	0.25
08	23.9	29.79	1.1	0.10
	18.9	32.57	1.8	0.32
09	19.8	31.98	2.6	0.19
	20.4	31.28	1.1	0.11
010	19.2	32.45	0.9	0.22
	20.4	31.79	2.6	0.25
012	20.8	31.65	2.3	0.19
	20.1	31.93	3.1	0.20
016	22.4	27.08	1.0	0.07
	19.3	32.25	0.8	0.19
018	20.2	31.18	2.9	0.11
	21.7	26.66	1.0	0.07
013	21.0	31.13	0.4	0.09
	20.6	29.99	5.8	0.13
017	20.6	29.77	7.8	0.21
	20.9	19.59	3.6	0.15
018	19.8	31.41	0.4	0.14
	20.1	29.00	7.3	0.20
S1	20.4	28.66	23.4	0.48
	21.0	14.71	65.2	2.57
S2	21.9	26.73	3.9	0.34
	20.9	24.45	33.4	0.94
S3	20.7	26.91	1.5	0.13
	18.4	32.58	2.9	0.43
S4	19.5	30.72	4.1	0.20
	20.6	23.49	1.5	0.11
004	19.9	32.19	0.8	0.18
	20.1	30.15	4.2	0.13
005	22.6	26.67	1.1	0.08
	19.0	32.55	1.5	0.29
006	20.5	30.94	3.2	0.17
	20.1	32.78	2.6	0.20
007	19.6	32.84	2.6	0.19



